

# 第47回 全日本中学生ホッケー選手権大会 確認事項《チーム用》

TD：馬場 治男（中学校部会事務局長）



## ◆ベンチ

1. ベンチには今大会に「選手」「スタッフ(監督・コーチ)」として登録し、日本ホッケー協会に選手または役員として登録した者が入ることができる。  
なお、「選手」「スタッフ(監督・コーチ)」は、別紙(第47回全日本中学生ホッケー選手権大会における「登録証」の活用について)に定めるとおり、『登録証』を持参してベンチ入りすること。  
・「監督」「コーチ」は、実行委員会より配布される、『IDカード』も持参すること。
2. 「担当者」について  
・原則パンフレットに記載されている者 2名（成人であること）  
・「担当者」の変更は、例年通り、スターティングリストにおいて変更を認める。(二重線——で訂正)  
・「担当者」には、実行委員会より配布される、『担当者用IDカード』(各チーム2名分)を持参すること。  
・今年度は、「担当者」については『登録証』を持参していなくてもよい。(将来的には登録を要する方向・)
3. ベンチには、パンフレットに記載された者とTDが認めた者\*が入ることを許可する。  
\*：「校長」「メンバーに入れなかった同性の3年生(体操服などユニホーム以外のそろいのジャージを着る)」等を認める。
4. ベンチは対戦表の先(左側)のチームが、ジャッジ席から見て左側(赤色のリボン)に入る。

## ◆事前練習

- ① 玖珠町メルヘンの森スポーツ公園会場のアップコートは、「アップ場(クレー)」もしくは、「クラブハウス横のサブグラウンド(ロングパイル)」とする。なお、どちらのアップ場についてゴールの設置はない。
  - ② 九重町活いきランド多目的グラウンド会場のアップコートについては、コートサイドの「アップエリア」とする。こちらについても、ゴールの設置はない。
- ・いずれのアップ場についても、試合時間の近いチームが優先的に使えるよう、友好的な配慮をお願いしたい。
  - ・競技会場内は、安全確保のためウォーミングアップは禁止とする(体操や体を動かすことは認めるが、ボールを使用する練習は厳禁)。
  - ・試合場での、試合開始前の事前練習については30分前から認める。  
\*ただし、競技役員の手指示に従うことを条件とする。また、2試合目以降についても認めるが、試合開始前の集合に遅れないことを条件とする。(実際には2試合目以降の練習実施は難しい)

## ◆メンバーチェック等

1. スターティングリストは、試合開始40分前までに、各コートのジャッジテントに2部提出する。  
\* チームユニフォームが重複した場合、友好的な解決をお願いしたい！  
\* スターティングリストの間違いは、監督会議直後に訂正受付をします(以降は認めません)。  
\* 時間厳守をお願いします。遅れるチームがあると、公式記録用紙が作成できず、時間通りに試合が開始できません！
2. 各チームは、試合開始15分前に次試合テントに待機していること。なお、各チームの監督は、メンバーチェックの前に、下記の点について確認・協力をお願いしたい。
  - ・『登録証』(個別に持参/顔写真の添付)を用いてメンバーチェックを実施する
  - ・選手の健康状況(明らかに熱中症…?)⇒TOの判断で、試合に参加させられない場合もある
  - ・ヘアピン、腕時計等、アクセサリや金属の装着不可
  - ・「スティックチェック」…規格およびスティックの破損はないか？  
\* 穴・破片が飛び散る可能性があるものは使用を控えてもらう場合もある！  
\* 最初の試合前に、リングパス及びスティックの破損状況など慎重にチェックする。

・GKのアンダーパットの装備

・「マウスガード」の装着

\*メンバーチェック時に確認あり。「未着用届」が提出されている選手については、着用を免除。

・アンダーウェアは着用しない。

3.PC時に使用する「マスク」「グローブ」も、このタイミングでTOの確認を受ける。

#### ◆試合開始時・終了時のセレモニー

《開始時》試合開始 1 分前に

「ジャッジ席前整列」～「トス」～「ジャッジあいさつ」～「コートへ散る」

《終了時》「センターであいさつ」～「握手」～「わかれ」

※時間短縮のため、ジャッジテント・相手チームへのあいさつは行なわなくてもよい。

※監督は、公式記録用紙のサインを速やかに行う。⇨スムーズな競技進行協力を！

#### ◆競技中

1. 試合時間は、前後半各15分で5分の休憩。休憩4分でホーン、5分で後半開始。

(4分間はしっかりテントで休憩を取ること/ホーンが鳴ったら速やかに準備を)

2. 全ての試合において延長戦はなし。決勝トーナメントについては、即SO戦を実施する。

3. PC時のフェイスマスクは、ゲームが途切れた時にゴール裏に置くよう指導を。

4. フリーヒット時はボールをしっかり止める。セルフで始める時はポイントの確認・ボールを止める動作をはっきり行う。

5. リバースプレーについては、危険か否かによる判断でジャッジする。(安全第一)

6. 6人制ルールの確認 (中学生)

◎PCの後に、コート内に残っていた不要になった守備側選手の装具にボールが当たった場合には、サークル外ならFH、サークル内ならPCになる。(規則 9.16)

●コーナー、攻撃側の波線内の FH およびコーナー付近のサイドラインからの FH 再開位置について昨年度(H27)より変更あり。…破線内の FH 再開はそのポイントから。

LC については12mから⇒16m仮想ライン上からに変更。

●ハイスティック規則を廃止する。

○ PC 時におけるフライング(攻撃側・守備側)およびフェイントについては、罰則としてセンターラインに戻すルールが採用される。

○退場(黄色カード)は3分以上。(時間の計測アンパイア)

○グリーンカードは警告のみ(退場はなし)

○給水タイムの採用は行わない。

※上記◎は今年度より採用のルール変更。●は H28.4.27 6人制レギュレーション変更について通達による。○は従来からのルールの再確認。

#### ◆選手交代

\* 選手の交代は、ジャッジテント前中央付近の(ラインで明記)で行うが、交代する選手がコート外に出た後に新たな選手が入ること。

控え選手にヒブスを着用させて待機させ、交代の際にヒブスを受け渡す方法で交代をするチームがある。この方法は、控え選手を明確にし、選手交代も正確かつ円滑に行われることから、良い方法として奨励される。

## ◆ベンチワーク

\*ベンチでの指導は、「監督」または「コーチ」のどちらか一人とする。

なお、今大会では、コーチングエリア(バルコニー/ラインで明記)を設けるので、立ち上がった指導は、バルコニーを活用すること。また、「担当者」はコーチングはできない。

\*アンパイヤに暴言を吐いたり、セルフ判定によりゲームを混乱させる行為などは厳しく対処する。

TOからカードにより、ベンチから退場もあり得る。

特に指導の必要な監督には、TDおよび中学校部会で対応する。

## ◆SO戦(予選リーグの順位決定)

\*予選リーグの順位をSOで決めなければならない時は、最終試合が早く終わったコートにて順位決定のためのSO戦を実施する。なお、詳細については、放送により連絡する。

…SO戦時に残っていないチームは「不戦敗」となる。

## ◆決勝トーナメントの組合せについて

\* H27 年度より、決勝トーナメントの組合せは、予選リーグ終了後に抽選会を実施する。

・時刻:予選リーグ終了後 (17:00頃を予定)

・場所:玖珠町会場(男子抽選会) = クラブハウス(運営責任者:馬場 TD)

九重町会場(女子抽選会) = ここのえ緑陽中会議室(運営責任者:久保中学校部会事務局)

\* 決勝トーナメントに進出する全チームの監督 or コーチまたはそれに代わる代表者(成人)が抽選会に参加すること。… H26 第 2 回常任委員会での決定事項

\* 決勝トーナメント1回戦は、予選リーグ1位チームと2位チームが対戦する組合せとする。

\* この時、簡単なTDおよび大会事務局からの「伝達・打合せ会議」も併せて実施する。

## ◆負傷・事故発生時の対応について

\* 負傷により手当要請をした場合、2分間以上ベンチで静養する。(GKは除く) ⇨ジャッジ席で計測

\* 顔・頭部・心臓付近の負傷については、本人の意思に関係なく、安全確認のため一旦ベンチに下げること。

\* GKが負傷した場合

・GKなしのゲームは認めない。

・控えのGKがいない場合、フィールドプレイヤーが防具を着装すること。

\* 救護所(室)

・救護所を設置し、各会場に看護師が常駐する。

・また、重大事故発生時には、救急対応する。

・AEDを各会場に設置する。

\* 負傷・事故報告書(ジャッジ席に配備)

救急車で搬送された場合、熱中症等で倒れるなど医師の診断を受けるような事故が発生した場合には以下の手順により、「負傷事故報告」の提出が義務づけられている。

1. TOが監督に負傷事故報告書を渡す

2. 医師等の診断

3. 事故報告・経過報告・医師の意見を記入

4. 記入された用紙をTOに渡す。→TD

5. 試合が翌日の場合は、翌日にTOに用紙を渡し、経過説明。

6. スタートイングリット提出時に、本人の健康確認をTOまたはTDが行う。

なお、事故と同一日に次の試合がある場合、無診察(素人判断のみ)での試合出場は認められない。

⇒【別紙】に従い安全第一の対応をお願いしたい。

## ◆その他

\*カメラマン(卒業アルバム等作成のためのチーム随行者カメラマン)について

- カメラマンが随行者しているチームの確認 ⇒ この場(監督会議の場)で申告をする。
- 必ず「受付」を通り、撮影できる場所の指示に従うこと。
- ジャッジ席および両チームのベンチの間を除く、防球ネットの外側から撮影する。(詳細は受付時に説明)  
…ケガは撮影者の自己責任でお願いしたい。アンパイアーの指示には必ず従うこと。
- 試合開始のあいさつ時のみベンチ周辺での撮影も許可する。

\*ベンチ内での撮影について

- ベンチに入ることが許される者が、ベンチ内(テント内)で、競技に支障を与えることなく撮影することは許可するが(カメラ・ビデオともOK)、ジャッジ席からの指示には速やかに従うこと。

スポ少・中学生大会等 1日に複数試合を行う場合の  
「負傷・事故報告書」の取り扱いと負傷者の試合続行に関する留意点

【別紙】

- \* 「負傷・事故報告書」の提出を要する事故とは
- ・ 救急車により搬送されるような事故
  - ・ 首から上の負傷は特に慎重に
  - ・ 出血を伴うような裂傷など、感染症の予防が必要と判断された場合
  - ・ 骨折など

負傷者の出たチーム (負傷者の監督)	負傷が発生したゲームTO 《負傷時TO》	負傷者の次試合のゲームを 担当するTO 《次試合TO》
<p style="text-align: center;">=ゲームの終了=</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>②当該ゲームのTOから「負傷・事故報告書」を受け取る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>医師の診断を受ける</b> 「負傷・事故報告書」には、医師の診断内容等を正確に記入し《負傷時TO》もしくは《次試合TO》に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師が試合続行が可能と診断した場合のみ、当日の試合に出場することができる。</li> <li>・ 医師の診断により続行不可となった場合、本人・監督等の希望があっても当日の試合に出場することは認めない。</li> </ul> </div>	<p>①「負傷・事故報告書」の準備</p> <p style="text-align: center;">事故報告</p> <p>②ゲーム終了後に、負傷者の出たチームの監督に「負傷・事故報告書」の提出を求める。</p> <p>③負傷者の出たチームの次試合が本日中にある場合《次試合TO》に負傷者が出た旨を伝達する。</p> <p>④負傷したチームから、「負傷・事故報告書」が届けられた場合、負傷の様子を確認後《次試合TO》に参加の可否を伝える。</p> <p style="text-align: center;">事故報告</p>	<p>③担当試合に、前試合で負傷した選手が居ることを把握する</p> <p>⑤負傷した選手の居るチームの試合開始前に、当該選手の参加について確認する。参加する場合は「負傷・事故報告書」の提出を求め、負傷の様子を確認後、正式に参加できるか判断する。</p> <p style="text-align: center;">事故報告</p>
<p>負傷後（当日2試合目）のゲーム</p>		
	<p>⑦競技役員ミーティングにて事故の詳細について報告する。</p> <p>⑧「負傷・事故報告書」にサインしTDに提出する。</p> <p style="text-align: center;">事故報告</p>	<p>⑥受け取った「負傷・事故報告書」は、当日、ミーティング前に《負傷時TO》に引き継ぐ。</p>